

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
感触あそび ～絵の具でぬたくりをしよう～	小	学級活動 2年 (えがく・つくる)	山本 風花

<ねらい>

- ・素材に直接触れて、絵の具の感触を楽しむ。
- ・いろいろな方法での描き方に親しむ。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・床や黒板、立てた机に厚めの模造紙を貼る。
- ・児童が手や足に絵の具を付けられるように、大きめの容器に絵の具を大量に入れて活動場所の中心に置いたり、直接模造紙に絵の具をかけたりした。
- ・回を重ねるごとに模造紙や絵の具の設定を少しずつ変える。

	1回目	2回目	3回目
模造紙	白	白	黒
絵の具	青	赤・黄	白

- ・初回は感触を楽しむことに重きを置いていたことから、白の模造紙に単色(青)でぬたくりを行った。(①)
- ・2回目は感触だけでなく、絵の具の色の変化にも気付いてほしいことから、白の模造紙に2色(赤、黄)でぬたくりを行った。赤と黄の絵の具を別々の容器に入れて、同時に出し、設定して色が出るのではなく、自然に色が混ざるようにした。(②)
※2色の絵の具が混ざっても、きれいな色になる2色を選んだ。
- ・3回目はあまり使うことのない黒の模造紙に、黒に生える色(白)でぬたくりを行った。(③)

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・自分で手や足を容器に突っ込んで絵の具をつけ手形・足形にしたり、模造紙にかけられた絵の具を手につけて広げたりと、絵の具に触れることを楽しみ、いろいろな方法で描くことができた活動になった。
- ・絵の具や模造紙に原色や反対色を採用したことにより、はっきりと模造紙に写り、児童の“できた”や“もっとしたい”という思いを引き出すことができた。
- ・今まで手形、足形が多かったのが、3回目には爪で引っ掻いてみるなど、児童からの新しい表現方法も出てきており、3回続けて行ってよかった。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・厚めの模造紙
- ・養生テープ(模造紙を固定する)
- ・絵の具
- ・ブルーシートなど汚れ対策用品

(①)



(②)



(③)



